

第3学年 算数科学習指導案

1 単元名 小数

2 指導の立場

本単元の概要と「学習指導要領」との関連は、次のようである。

< A (5) 小数 > 小数の意味や表し方について理解できるようにする。
ア 端数部分の大きさを表すのに小数を用いること。また、小数の表し方及び $1/10$ の位について知ること。
イ $1/10$ の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、計算の仕方を考え、それらの計算ができること。
[算数的活動]
ア 整数、小数及び分数についての計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動
イ 小数や分数を具体物、図、数直線を用いて表し、大きさを比べる活動
(内容の取扱い)
(6) 内容の「A数と計算」の(5)及び(6)については、小数の 0.1 と分数の $1/10$ などを数直線を用いて関連付けて取り扱うものとする。

これまで児童は、小数について学習したことはないが、分数の意味と表し方、和が1までになる加法、減法を学習してきており、分数で1を等分するという考えは学んでいる。

そこで、本単元では、これらの理解と関連させて小数のしくみが理解できるようにする。 0.1 をもとにすることで、小数を整数と同じようにとらえ、整数の加法、減法に帰着させながら小数の計算ができることに気付かせ、 $1/10$ の位までの加法や減法ができるようにする。本時は、帯小数どうしの減法をするにあたり、整数と同様の計算のしくみで筆算ができることを理解させながら、「小数の加法と同様、同じ位どうしを計算する」「ひけなければくり下げる」といった見通しをもたせ、課題を解決させていきたい。

3 研究内容にかかわって

「一人一人が主体的に学ぶ児童の育成」
～算数科の授業を通して「わかった・できた」と言える子を目指して～

(1) 単位時間で付けるべき力に応じた指導過程の工夫

本時は、 $1/10$ の位までの小数の減法の筆算の仕方を理解し、計算できることをねらう「知識・技能の習得・定着を図る時間」の授業である。そのため、等質コースでは、終末における練習問題を解く時間を十分に確保し、繰り返し演習を行うことで、基礎的な技能の定着を図る。一方、こつこつコースでは、全体交流をなくし、計算の手順を確認する時間を十分に確保することで、児童が自力で位をそろえながら小数の筆算を解くことができる姿を目指す。

(2) 「知りたい・やってみよう」と意欲を引き出す導入の工夫

本時は、等質コースでは、かさの増減が視覚的にわかる模型を用いて問題場面を想起させることで、前時とのつながりや類似点に気付かせる。また、前時までのポイントをまとめた掲示物やノートを活用させることで、前時学習した帯小数どうしの加法と同じように、筆算で解けそうだという見通しを持たせる。それらの工夫に加え、こつこつコースの問題提示では、繰り下がりのない小数の引き算を事前に提示することで、児童にとって容易な問題からスモールステップを踏みながら、問題を解くことができるよう工夫する。

(3) 個に応じた指導・援助の工夫

等質コースでは、掲示物に着目させることを計算のヒントとすることに加えて、計算につまずきを見せる児童には、 0.1 をもとにして考えることを示したヒントカードを提示できるよう準備しておく。こつこつコースでは、自分の考えを持つことができない児童には、位ごとにそろえて筆算を解くための枠を記したヒントカードを提示することで、指導・援助を図る。

等質コースの終末の練習問題では、ネームプレートを活用しながら問題に取り組みせることで進度が把握でき、児童も主体的に計算技能の定着を図ることができる場として位置づける。また、練習問題は、問題の難易度ごとに分けたステージ1～4の問題を順番に解くことによって、児童がより意欲的に問題演習に取り組むことができるよう工夫する。

4 単元指導計画 単元名 第3学年「11 小数」(10・11月)全12時間

< 既習の内容との関連と、本単元の評価基準の設定 >

【前単元までに身に付けてきた内容】

- ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを、分数を用いて表すことができる。
- ・和が1までのどう分母の加法や、その逆の減法の計算をすることができる。

【本単元の評価規準】

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
・小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表すことができるなどのよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする。	・端数部分の大きさを表すとき、整数の十進法取り記数法の考えをもとに、その大きさの幾つ分かで表すなど、拡張して考えることができる。	・1/10の位までの小数と分数と分母が10の分数の大小比較や、1/10の位までの小数の加法及び減法の計算ができる。	・小数の意味や表し方、構成、順序、系列、整数や分数との関係が分かる。

【今後の学習へのつながり】

- 小4 「小数」
- ・1/1000の位までの小数のしくみ、表し方、読み方。
- ・小数の相対的な大きさ、大小比較。
- ・1/1000の位までの小数の加法と減法。
- 小5 「整数と小数」
- ・整数と小数の統合的な見方

< 単元指導計画 (基本) > (授業展開 知識・技能を習得すること、定着を図ること 知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力等を育むこと を表す)

小単元時	はしたの大きさの表し方			小数のしくみ		
	1	2	3	4	5	6
ねらい	かさの測定の操作を通して、端数部分の大きさを表すのに小数が使われていることを知り、はしたのかさの表し方に関心をもつことができる。	かさの測定の操作を通して、端数部分の大きさを表すのに小数が使われていることを知り、小数の表し方と読み方を理解することができる。	mmで表された長さをcmで表す活動を通して、複名数で表される数量は、小数を用いて単名数で表せることがわかり、小数を使って長さをcmだけで表すことができる。	数直線上数に小数を表したり、0.1のいくつ分で表したりすることを通して、「1/10の位」「小数第一位」の用語とそれらの意味を理解することができる。	小数を数直線上に表すことを通して、小数の大小比較をすることができる。	小数と分数の大小比較をすることを通して、大小比較をするときには小数が分数のどちらかにそろえたり、数直線上に表したりすればよいことを考えることができる。
評価規準(終末の姿)	1Lに満たないはしたのかさの表し方に関心をもち、どのように表したらよいかを考えようとしている。(関心)	端数部分を小数で表す表し方や読み方を理解している。(知識・理解)	複名数で表された長さを、小数を用いて単名数で表すことができる。(技能)	「1/10の位」「小数第一位」の用語とそれらの意味を理解している。また、「数直線」の用語や、小数の十進構造を理解している。(知識・理解)	小数の大小比較をすることができる。(技能)	小数と分数の関係をもとに、大小比較のしかたを考えている。(数学的な考え方)
授業展開						
主なつまづき	・はしたの大きさを正しく小数で表すことができない。	・0.1Lをもとにしてそのいくつ分でかさを表すことが理解できない。	・cm mmをcmと小数を用いて正しく表すことができない。	・メモリを正しく読んで、小数で表すことができない。	・0や1と小数の大小比較ができない。	・分数から直す、小数から分数に直すことができない。
指導のポイント	<p>1 問題づかみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P120の写真を見ながら新しい数に対する興味・関心を高める。 ・教科書P121問題1を読む。 <p>2 課題づくり</p> <p>はしたのかさをLの単位で表してみよう。</p> <p>3 一人学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3dL ・3/10L ・メモリをつけて、0.1の幾つ分になるかを考える。 <p>4 仲間学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを交流する。 <p><教える></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1Lの1/10は1/10L。 ・1/10Lを0.1Lという。 <p>5 まとめ</p> <p>新しい表し方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1Lの1/10を0.1L ・10こに分けた1つ分が0.1 ・0.1Lの3つ分のかさを0.3Lと書いて、わい点三リットルと読む。 	<p>1 問題づかみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P122 3を読む。 <p>2 課題づくり</p> <p>水のかさを小数をつかってLの単位で表そう。</p> <p>3 一人学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2Lとはしたの0.3Lだから、足して2.3Lになる。 <p>4 仲間学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを交流する。 ・確認する ・P123 りんご問題 ・0.1Lを10こ集めたかさが1L <p>5 まとめ</p> <p>・0.1, 0.3, 2.3のように表した数を小数と言う。</p> <p>・「.」を小数点という。</p> <p>・0, 1, 2...のような数字を整数と言う。</p> <p>6 評価問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P123 鉛筆問題1 <p>7 練習問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P123 鉛筆問題2・3・4 ・補充問題に取り組む。 	<p>1 問題づかみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P124の問題2を読む。 <p>2 課題づくり</p> <p>小数をつかって、長さをcmだけで表そう。</p> <p>3 一人学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数を用いてテープの長さを表す。 ・8cmと6mm。6mmは0.1cmが6個分だから、0.6cm。 ・だから8cm 6mm = 8.6cm。 <p>4 仲間学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを交流する。 <p>5 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1mmは0.1cmと表す。 <p>6 評価問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P124 鉛筆問題5 6 <p>7 練習問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補充問題に取り組む。 	<p>1 問題づかみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P125問題1を読む。 ・0.7と2.6を数直線に表す。 <p>・数直線を教える。</p> <p>p125の～を全体で解く。</p> <p>2 課題づくり</p> <p>小数を数の線に表したり、0.1のいくつ分で表したりしよう。</p> <p>3 一人学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1メモリが0.1Lである。 ・0.7Lと2.6Lを線に表す。 <p>4 仲間学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを交流する。 <p>5 まとめ</p> <p>・小数点のすぐ右の位を1/10の位という。</p> <p>・1/10の位のことを小数第1位ともいう。</p> <p>6 評価問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P125 鉛筆問題1・2 <p>7 練習問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P126 鉛筆問題3・4・5 ・補充問題に取り組む。 	<p>1 問題づかみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P127問題3を読む。 <p>2 課題づくり</p> <p>小数の大小の比べ方を考えよう。</p> <p>3 一人学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線で考える。 ・各小数が、0.1の幾つ分であるかを基に、大小を判断して5つの数を小さい順に並べる。 <p>4 仲間学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを交流する。 <p>5 まとめ</p> <p>数直線を使うと、数の大きさがくらべやすくなる。</p> <p>・確認する</p> <p>1を10等分した1つ分の大きさは、分数では1/10、小数では0.1で大きさが等しい。</p> <p>6 評価問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P127 鉛筆問題6 <p>7 練習問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書p127の4を読む。 ・数直線の1/10ごとのメモリに対応した小数を表す。 	<p>1 問題づかみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P128の問題5を読む。 <p>2 課題づくり</p> <p>分数と小数の大きさの比べ方を考えよう。</p> <p>3 一人学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数を分数に直して比べる。 ・分数を小数に直して比べる。 ・2つの数を数直線上に表して比べる。 <p>4 仲間学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを交流する。 <p>5 まとめ</p> <p>小数と分数の大きさの比べかた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数が分数どちらかにそろえる。 ・数直線上に表す。 <p>6 評価問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P128 鉛筆問題7
留意点	・1/10Lと0.1Lが同じ量であることを、図を通して理解させ、小数への抵抗をなくしていく。	・0.1Lは1dL、1/10Lと同じ量であることを、図を通して理解させ、小数への抵抗をなくしていく。	・ものさしを用いて確認し、0.1の幾つ分の長さになるかを確認する。	・0.1, 0.7, 2.6について、各位の数か確認して、練習問題へいくようにする。	・数直線上に表すと、右の方になればなるほど、数が大きいことが整数と同じであることを理解する。	・0.1=1/10 1/10=0.1であることを確認する。

小単元 時	小数のたし算とひき算				練習・きほんのたしかめ	
	7	8	9	10(本時)	11	12
ねらい	0.1 を単位としてそのいくつ分と考えることを通して、1/10 の位までの加法の計算の仕方を理解し、計算のしかたを説明することができる。	0.1 を単位としてそのいくつ分と考えることを通して、1/10 の位までの小数の減法の計算の仕方を理解し、計算のしかたを説明することができる。	帯小数どうしのいろいろな加法を計算することを通して、1/10の位までの小数の加法の筆算は、小数点の位置をそろえて同じ位どうし計算すれば、整数と同じように求めることができることに気が付き、正しく計算することができる。	帯小数どうしのいろいろな減法を計算することを通して、1/10の位までの小数の減法の筆算は、小数点の位置をそろえて同じ位どうし計算すれば、整数の減法と同じように求めることができることに気が付き、正しく計算することができる。	練習問題に取り組み、基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。	基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。
評価規準 (終末の姿)	0.1 のいくつ分という見方をもとにして小数の加法の計算方法を説明している。 (数学的な考え方)	0.1 のいくつ分という見方をもとにして小数の減法の計算方法を説明している。 (数学的な考え方)	1/10 の位までの小数の加法の計算を筆算でできる。 (技能)	1/10 の位までの小数の減法の計算を筆算でできる。 (技能)	小数の大小比較や、加減の計算をすることができる。 (技能)	小数の大小比較や、加減の計算をすることができる。 (技能)
授業展開						
主なつまずき	・0.1 の幾つ分という見方を基にして、小数の加法の計算方法を説明することができない。	・1から純小数を引くときの差が求められない。	・小数点を利用した位取りが上手くできない。 ・4を4.0と考えることができない。	・小数点で揃えて筆算することができない。 ・5を5.0と考えることができない。	・小数の構成、大きさなどについて理解ができない。 ・小数の大小・加減ができない。	・小数の構成・大きさなどについて理解できない。 ・小数の大小・加減ができない。
指導のポイント	1 問題づかみ ・教科書P129の問題を読む。 ・ $0.5+0.3$ を立式し根拠を説明する。 2 課題づくり 小数のたし算の計算の仕方を説明できるようにしよう。	1 問題づかみ ・教科書P131問題3を読む。 ・ $0.6-0.2$ を立式し根拠を説明する。 2 課題づくり 小数のひき算の計算の仕方を説明できるようにしよう。	1 問題づかみ ・教科書P132の問題5を読む。 ・ $3.5+2.8$ を立式し根拠を説明する。 2 課題づくり 大きい数の小数のたし算の計算の仕方を考えてみよう。	1 問題づかみ ・教科書P133の問題6を読む。 ・ $6.3-4.7$ を立式し根拠を説明する。 2 課題づくり 小数の引き算を筆算で計算しよう。	1 課題づくり 計算を間違えないで答えをだそう。	1 課題づくり 今までに学習したことをできるようにしよう。
	3 一人学び ・0.1を5こ分と、3こ分と見て、合わせて0.1が8こ分だから答えは、0.8となる。 ・数直線で考える。 4 仲間学び ・0.1をもとにして考えると、 $5+3=8$ となり、0.8になる。 ・教科書p130の問題2 $0.5+0.8$ の計算を、0.1をもとにして考える。 5 まとめ 0.1のいくつ分かで考えると、整数の足し算として考えることができる。	3 一人学び ・0.1を6こ分と、2こ分と見て、引くと0.1が4こ分だから答えは、0.4となる。 ・数直線で考える。 4 仲間学び ・0.1をもとにして考えると、 $6-2=4$ となり、0.4になる。 ・教科書p131問題4 $1.2-0.7$ の計算を、0.1をもとにして考える。 ・りんご1-0.7をやる。 5 まとめ 小数の引き算も、0.1のいくつ分かで考えると、整数の引き算として考えることができる。	3 一人学び ・整数の計算と同じように位をそろえて考え、0.1のいくつ分と考えていけばよい。 3.5 ・3.5は0.1の35こ分 $+2.8$ ・2.8は0.1の28こ分 6.3 ・0.1が63こ分で6.3 4 仲間学び ・考えを交流する。 ・りんご問題 5 まとめ 小数のたし算の筆算は、位をそろえて書く。整数のたし算と同じように計算する。上の小数点にそろえて、答えの小数点を打つ。	3 一人学び ・位を揃え、筆算をする。 6.3 ・6.3は0.1の63こ分 -4.7 ・4.7は0.1の47こ分 1.6 ・0.1が16こ分で1.6 ・たし算の時のように筆算をし、1.6になるかどうかを0.1のいくつ分で確認する。 4 仲間学び ・考えを交流する。 ・りんご問題 5 まとめ 小数の引き算の筆算は、位をそろえて書く。整数の引き算と同じように計算する。上の小数点にそろえて、答えの小数点を打つ。	2 一人学び ・教科書P134のまとめの練習に取り組む。 ・答えを印刷しておき、自己採点をする。 ・正しく計算したり式に表したりできない児童を支援する。 ・教科書の問題が確実にできた児童はプリントの練習問題に取り組む。	2 一人学び ・教科書P135のまとめの練習に取り組む。 ・答えを印刷しておき、自己採点をする。 ・正しく計算したり式に表したりできない児童を支援する。 ・習熟度に応じた練習に取り組む。
留意点 ・つまずきへの対応	・小数を単位小数の幾つ分であるかを問い返すことによって、整数の加法に帰着できることを理解できるようにする。	・1を0.1が10こ分とみて、 $1=1.0$ で表し、計算できるようにする。	・加数が整数の場合は、0.1の幾つ分であることを確かめ、位がそろえるようにする。	・加数が整数の場合は、0.1の幾つ分であることを確かめ、位がそろえるようにする。	・掲示物やノートをもとに、学習を振り返る。 ・単元を通してつまずきが見られた問題の解き方をていねいに確認する。	・単元を通してつまずきが見られた問題の解き方をていねいに確認し、確実に理解させる。

5 本時のねらい 帯小数どうしのいろいろな減法を計算することを通して、1/10の位までの小数の減法の筆算は、小数点の位置をそろえて同じ位どうしで計算すれば、整数の減法と同じように求めることができることに気づき、正しく計算することができる。

6 本時の展開 (こつこつコース) (10/12)

	学 習 活 動	指導・援助(人権教育の観点)
問題 つかみ	1 問題文を読む。 スポーツドリンクを6.3L持ってきました。4.7L飲むと、のこりは何Lでしょう。	・前時までの学習内容を想起させるため、これまでの学習内容を掲示しておく。 ・くり下がりのない小数の引き算を事前に提示し、くり下がりのある本時の問題提示への小さなステップを踏む。(2.5 1.2を提示する。)
課題 づくり	2 見通しをもつ。 ・「飲む」、「残りは・・・」なので、引き算できそう。 ・式は、6.3 - 4.7です。 ・0.3から0.7は引けないけど、くり下がりはあるのかな。 ・くり下がりがありそうだから、暗算では難しいな。たし算のように筆算が使えるのかな。 ・たし算のように位をそろえて計算すればいいのかな。 ・小数の計算だから0.1のいくつ分かで考えればよさそう。 3 課題をつくる。 小数のひきざんを筆算で計算しよう。	・前時との違いに気付かせ、課題を導く。 ・課題解決の見通しをもたせてから一人学びに入る。 ・一人学びの後、筆算の仕方を話し合いながら整理し、正しい計算の手順を教える。 ・位をそろえることが意識できるよう板書では、位をそろえる枠の中に値を書き入れるようにする。
一人 学び	4 自分の考えをもつ。 ヒントカードを使って考える。 ・0.1をもとにして考える。 ・位をそろえて、たしざんの筆算と同じように計算する。 ・6.3は0.1の63こ分、4.7は0.1の47こ分、 $63 - 47 = 16$ 、0.1が16こで1.6だから答えは1.6L	<個に応じた指導・援助> ・1/10の位に繰り下げられない児童には、整数と同じように一つ上の位から繰り下げることができると気付くことができるように、1が0.1のいくつにあたるかに着目することで、整数と同様に捉えさせる。
まとめ	5 筆算の仕方を知る。 ・筆算の仕方を話し合いながら整理する。 「まず、位をそろえて書きます。次に、整数のときと同じように1/10の位から計算します。3から7はひけないので、1の位からくり下げて計算します。最後に、上の小数点に合わせて、答えの小数点を打ちます。だから、答えは、1.6Lになります。」 6 考えを深める問題に取り組む。 P133 🍎 整数をひいたり、整数からひいたりする問題に取り組む。 6.8 - 5 8 - 3.6の筆算の仕方を考えましょう。 ・5は5.0と考えて、8は8.0と考えて位をそろえる。 今日の学習で大切なことをたしかめる。	・一人で考えることが難しい児童には、位ごとにそろえて解くための枠を示したり、に数をあてはめたりするヒントカードを提示する。 🍎 問題 小数-整数、整数-小数の問題に取り組むことで、整数の場合も、位をそろえることを意識させ、一般化していくための手がかりとする。 <教えること> ・答えが整数のときは、1/10の位の0を書く必要はないので「0」と記す。
	7 学習のまとめをする。 小数の引き算の筆算は位をそろえて書く。整数の引き算と同じように計算する。上の小数点にそろえて、答えの小数点を打つ。	<評価規準> 1/10の位までの小数の減法の計算を筆算ですることができる。🔧 (ノート・発言・練習問題)
	8 評価問題を解く。 6.5 - 3.4...くり下がりのない小数どうしの減法 5.2 - 4.7...くり下がりのある小数どうしの減法 9.3 - 4...小数から整数を引く減法	数量や図形に関する概念や原理・法則、簡潔に表現する方法や量を測定する方法等の適切な理解。(認識力) ・問題演習の時間を十分確保する。

5 本時のねらい 帯小数どうしのいろいろな減法を計算することを通して、1/10の位までの小数の減法の筆算は、小数点の位置をそろえて同じ位どうしで計算すれば、整数の減法と同じように求めることができることに気づき、正しく計算することができる。

6 本時の展開 (等質コース) (10/12)

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助 (人 権 教 育 の 観 点)
問題つかみ	<p>1 問題文を読む。</p> <p>スポーツドリンクを6.3L持ってきました。4.7L飲むと、のこりは何Lでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習内容を想起させるため、これまでの学習内容を掲示しておく。 ・かさの変化を表す模型を用いて問題場面を想起させ、前時とのつながりに気付かせる。 ・前時との違いに気付かせ、課題を導く。 ・課題解決の見通しをもたせてから一人学びに入る。
課題づくり	<p>2 見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「飲む」、「残りは・・・」なので引き算だと思います。 ・式は、6.3 - 4.7です。 ・0.1をもとにして考えればできそう。 ・2Lよりは少なくなりそう。 ・たし算と同じように筆算が使えると思います。 <p>3 課題をつくる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">小数のひきざんを筆算で計算しよう。</p>	
一人学び	<p>4 自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0.1をもとにして考える。 ・位をそろえて、たしざんの筆算と同じように計算する。 ・6.3は0.1の63こ分、4.7は0.1の47こ分、63 - 47 = 16、0.1が16こで1.6だから答えは1.6L <p>5 全体交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え方の交流をする。 「まず、位をそろえて書きます。次に、整数のときと同じように1/10の位から計算します。3から7はひけないので、1の位からくり下げて計算します。最後に、上の小数点に合わせて、答えの小数点を打ちます。だから、答えは、1.6Lになります。」 	<p><個に応じた指導・援助></p> <ul style="list-style-type: none"> ・0.1をもとにして考えることに注目させる。 ・くり下がりにつまずく児童には、整数と同じように一つ上の位から10を繰り下げること気付かせる。 ・自分の考えがもてた児童はペアで説明しあう。 <p>🍎問題では、小数 - 整数、整数 - 小数の問題に取り組むことで、整数の場合も、位をそろえることを意識させ、一般化していくための手がかりとする。</p>
仲間学び	<p>6 考えを深める問題に取り組む。</p> <p>P133 🍎 整数をひいたり、整数からひいたりする問題に取り組む。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">6.8 - 5 8 - 3.6の筆算の仕方を考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5は5.0と考えて、8は8.0と考えて位をそろえる。 <p style="text-align: center;">今日の学習で大切なことを確かめる。</p>	<p><教えること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えが整数のときは、1/10の位の0を書く必要はないので「0」と記す。
まとめ	<p>7 学習のまとめをする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小数の引き算の筆算は位をそろえて書く。整数の引き算と同じように計算する。上の小数点にそろえて、答えの小数点を打つ。</p>	<p><評価規準></p> <p>1/10の位までの小数の減法の計算を筆算ですることができる。[技]</p> <p>(ノート・発言・練習問題)</p> <p>数量や図形に関する概念や原理・法則、簡潔に表現する方法や量を測定する方法等の適切な理解。(認識力)</p>
	<p>8 評価問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆問題4 を解く。 <p>9 練習問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ1...くり下がりのない小数どうしの減法 ・ステージ2...くり下がりのある少数どうしの減法 ・ステージ3...小数と整数が混ざった減法 ・ステージ4...いろいろな小数の減法 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習の時間を十分確保する。 ・次第に難易度が上がる問題をステージ問題として準備しておく。 ・児童の意欲を引き出し、教師側としては進度を把握できるようにネームプレートを使う。